

第七十三回帝國議會
衆議院

國家總動員法案會議錄(速記)第十一回

付託議案
國家總動員法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月十日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事中村不二男君 理事豐田 豐吉君

理事中山 福藏君 理事西岡竹次郎君

理事宮脇 長吉君 理事篠原 義政君

理事井阪 豐光君 理事西尾 末廣君

作田高太郎君 齋藤 隆夫君

櫻井兵五郎君 古屋 慶隆君

増田 義一君 山本 厚三君

林 平馬君 眞鍋 儀十君

眞鍋 勝君 池田 秀雄君

小山 谷藏君 高橋壽太郎君

川崎末五郎君 長井 源君

河野 一郎君 小高長三郎君

泉 國三郎君 羽田武嗣郎君

濱田 國松君 河上 哲太君

熊谷 直太君 植原悦二郎君

猪野毛利榮君 牧野 良三君

若宮 貞夫君 岩元榮次郎君

木下成太郎君 藤本 捨助君

山崎 常吉君 清瀬 一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

海軍大臣 米内 光政君

司法大臣 鹽野 季彦君

陸軍大臣 杉山 元君

商工大臣 吉野 信次君

鐵道大臣 中島知久平君

文部大臣兼 侯爵木戸 幸一君

厚生大臣 內務大臣 末次 信正君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

企畫院部長 橫山 勇君

企畫院書記官 內田源兵衛君

內閣情報部長 橫溝 光暉君

關東局事務官 大塚 喜一君

內務政務次官 勝田 永吉君

內務參與官 木村 正義君

內務省地方局長 坂 千秋君

內務省警保局長 富田 健治君

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

陸軍參與官 比佐 昌平君

陸軍中將 山脇 正隆君

陸軍少將 町尻 量基君

海軍政務次官 一宮房治郎君

海軍參與官 岸田 正記君

海軍少將 井上 成美君

海軍主計大佐 山本丑之助君

司法參與官 藤田 若水君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

司法省行刑局長 瀧川 秀雄君

司法省調查部長 井上 登君

文部政務次官 內ヶ崎作三郎君

文部參與官 池崎 忠孝君

文部省專門 學務局長 男爵山川 建君

文部省圖書局長 石井 忠純君

文部省宗教局長 松尾 長造君

教學局部長 阿原 謙藏君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生省社會局長 山崎 巖君

厚生省勞働局長 成田 一郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍歩兵中佐 山之内二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法案(政府提出)

○小川委員長 會議ヲ開キマス、政府ノ要求ニ依リマシテ、是ヨリ秘密會ニ入リマス、

所管政府委員並ニ所管ノ説明員外ノ官吏及

議員ノ傍聽ヲ禁止シタイト思ヒマスガ御

異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小川委員長 御異議ナケレバ其通り決定

致シマス、是ヨリ秘密會ヲ開會致シマス

〔午前十時三十一分秘密會ニ入ル〕

〔午後三時五十九分秘密會ヲ終ル〕

○小川委員長 秘密會ヲ解キマス、四時半

マデ休憩致シマス

午後四時休憩

午後四時四十五分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開

キマス——此際西尾君ノ商工大臣ニ對シテ

留保シテ居ラレマシタ質問ヲ許シマス、西

尾君

○西尾委員 先ヅ商工大臣ニ御尋致シタイ

ノハ、施行要綱ノ第十一條ニ關スル件デア

リマスガ、先日豐田委員ノ質疑ニ對シテ御

答ニナリマシタ中、第十一條第二ノ「資本金一定金額以上ノ會社ノ増配ハ政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ザルコト」此條項ニ關シマシテノ御答ハ、其利益金ノ處分ヲ、詰リ今ヤツテ居ル配當ヲ下ゲルト云フヤウナコトハ豫想シテ居ナイ、斯ウ言ハレテ居ルノデアリマスガ、此趣旨ハ、例ヘバ現在鐘紡ガ二割五分ノ配當ヲシテ居ルト云フ事實ハ、其儘事變或ハ戰爭ニ入ツタ場合ニ、依然トシテ許可ヲ受ケルコトナク、是ハ御認メニナルノデアリマセウカ

○吉野國務大臣 大體サウ云フ考デ居リマス、唯此前モ申上ゲマシタ通りニ、一部ノ會社ガ假令現在通りデアッテモ、ソレガ社會不安ヲ醸成シ、激成スル國家非常ノ場合ニナツタト云フ時ニハ、是ハ又自ラ問題ハ違フダラウト思ヒマス

○西尾委員 次ニ同ジク第二デアリマスガ、既往ノ配當ガ一定率ニ達セザルモノニ付テハ「ト云フ其一定率ハ何ヲ豫想シテ居ラレルノデアリマセウカ

○吉野國務大臣 ソレハ其時ノ事情デアリマスカラ、今豫メ何分デアルト云フヤウナコトハ、一寸此處デ申上兼ル次第デアリマス

○西尾委員 サウ致シマスルト、例ヘバ鐘

紡ノ株ガ二割五分配當ヲシテ居リマス時分ニ、其一定率ト云フモノハ是ハ假定ノ話デアリマスガ、例ヘバ五分トカ或ハ六分トカ云フヤウナコトニナツタ場合ニハ、財界ニ與ヘル影響ト云フモノハドウ云フヤウニナルデアリマセウカ

○吉野國務大臣 度々鐘紡ノ御話ガ出マスケレドモ、前回ニモ申上ゲマシタ通りニ、配當ト云フモノハ色々沿革ガゴザイマシテ複雑デゴザイマスカラ、當初ノ拂込シダ人ガズツ引續キ株ヲ持ッテ居ル場合ト、二割五分ナラ二割五分ト云フ配當デ其値段デ株券ガ流通スル場合ト色々ゴザイマスカラ、今御話ニナリマシタヤウナ例デ比較上ノ率ト云フモノヲ茲デ幾ラト云フヤウナコトヲ申上ゲルコトハ困難デアリマス

○西尾委員 私ハ別ノ機會デモ他ノ大臣ニ申上ゲテ置イタノデアリマスルガ、凡ソ人ノ不平ト云フモノハ相對的ナモノデアリマシテ、事變ニ於テ國民ガ皆一樣ニ不自由ラスト云フ場合ニ於テハ、如何様ニ不自由デアリマセウトモ、國民ハ喜ンデ其不自由ヲ忍ブコトガ出來ルノデアリマスガ、一部ニ非常ナ犧牲ヲ拂ッテ、一部ニ割合ニ利益ヲ多ク取ッテ居ル者ガアルト云フヤウナコトニナリマスルコトガ、不平ノ勃發スル重要ナ

原因ニナルノデアリマス、私ガ前ニ引用致シマシタ亞米利加ノ大統領調停委員會ノ報告ガ、歐洲戰爭中ノ經驗ニ基キマシテ、大統領ニ之ヲ報告シテ居ルノデアリマスガ、其中ニ斯ウ云フコトガアルノデアリマス、戰爭期間中、一切ノ暴行ヲ最大限度ニ除去スルハ、最大ナル産業道德ノ先要條件デア

ス、私ハ以上質問ヲ試ミマシタノハ、此點ヲ當局ガ十分ニ御考慮下サイマシテ、單ニ從來ノ事變ニ依ル、詰リ此法ノ發動スル以前ニアツタ配當ヲ、増配シナケレバ其儘認メルト云フ態度デナクテ、若シ事變ニ入りマ

スナラバ、例ヘバ勞働者デアラナラバ、三圓デ働イテ居タ者モ、時ニハ二圓デ働カナケレバナラスト云フ犠牲ヲ拂フノデアリマスカラ、是ハ非常ナ場合ト云フコトデ、元來事變ニ入ルヤウナ場合ニハ、今マデ六分ノ利廻ニナツテ居タ、ソレヲ時ニハ四分ノ利廻ニナルト云フヤウナコトニスルコトモ必要デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、何カ此條文デ見マスト、例外ノ非常ナ場合ヲ除イテハ、大體平時ト同ジヤウナ配當ヲ株主ニ認メルト云フヤウニ取レルノデアリマスガ、ソレハ私ハ少シ受取レナイノデアリマス

○吉野國務大臣 御話ニナリマシタヤウナ點モ、私ハ絕對ニナイコトダトハ申上ゲテ居ラヌノデアリマス、前回モ申上ゲマシタ通りニ、景氣ガ非常ニ跛行的ニナリマシテ、軍需工業ト云フモノダケガ非常ニ宜シイ、外ハ惡イ、ソコデ常非ニ加減シテ參リマス、産業界ノ其事ガ財界全體ノ不安ヲ激成シタリ、或ハ醸成スルヤウナ場合ニハ、御話ノヤウナコトモアリ得ルト云フコトヲ申上ゲマシタノデアリマス

○西尾委員 サウ云フ場合ガアリ得ルト云フヨリモ、恐ラクサウ云フ場合ノ方ガ多いノデハナイカト云フヤウニ、私ハ考ヘマシタノデ、政府ニ向ッテ質疑ヲ試ミタ譯デアリマス、ドウゾ其點御考慮下サイマシテ、此運用ノ宜シキヲ得テ戴キタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○小川委員長 眞鍋儀十君

○眞鍋(儀)委員 私ハ主トシテ本案ノ提出ニ依ッテ、國民思想ニ及ボシタ影響ヲ中心トシテ、政府ニ御尋スルノデアリマス、本案提出以來、此中ニハ憲法上ノ大疑義ヲ含ムモノナリトノ議論モゴザイマスレバ、第三條ガ臣民ノ權利義務ニ對スル觀念ニ、非常ナ不安ヲ起サシムルニ至ツタト云フ議論モゴザイマス、又見様ニ依ッテハ、大戰爭ヘノ移行ノ前提ダト見ル向モゴザイマス、ドウシテモ

政府が本案ヲ通過サセナケレバナラスト御主張ニナリマスナラバ、其以前ニ是ダケノコトハ用意ヲシテ掛ッテ戴カナケレバナラスト、私ガ感じテ居リマスコトヲ申述ベマシテ、之ニ對スル政府ノ御所見モ承ッテ見タイト存ジマス

國家總動員ガ國民ノ自發的協力ニ依ッテ、初メテ完全ニ實施サレマスコトハ、是ハモウ申ス迄モゴザイマセス、如何ニ完全ニ法文化サレタト致シマシテモ、國民ガ衷心カラ非常時々局協力ノ誠意ヲ缺キマシテハ、此成果ハ收メ得ルモノデハゴザイマセス、命令サヘスレバドンナニデモ人ヲ動カスコトガ出來ルト思ヒマスノハ、ソレハ表面ダケノコトデアリマス、蓋シ本心ノ自由ハ人ノ内部ニ存スルモノニシテ、固ヨリ國法ノ干涉スル區域ノ外ニアリトハ、憲法義解ノ説明ヲ俟ツマデモアリマセス、我ガ國民ハ過去幾度カノ經驗ニ依ッテ、國民ノ忠誠ト犧牲ノ精神トニ依ッテ、能ク舉國一致ノ實ヲ擧ゲマシテ、實際上ノ國家總動員ヲ實行シテ參ッタノデアリマス、今度ト雖モ一旦緩急ノ際ニハ、萬邦ニ卓越致シ居リマス旺盛ナ皇國精神ヲ以テ、ドウ云フ苦難ヲモ忍ビ、ドウ云フ奉公ヲモ惜ミマセス、陛下ノ赤子トシテ、大元帥ノ股肱トシテ政府ノ方針ニモ從

ヒ、軍ノ秩序ヲモ守リマシテ、寸毫微塵ノ心得違ヒモナイノデゴザイマスト、幾度繰返シテ申上ゲマシテモ、ドウシテモ本法ヲ必要ダト言ハレテ居リマス、如何ニ國民ガ衷心ヲ披キ、赤誠ヲ捧ゲマストモ、外國ノ法制ナドヲ御參酌ニナリマシテ、今日ノ儘デハドウシテモイケンナイト主張サレテ居リマス、下カラセリ上ゲテ眞ノ精神總動員ニナリマスコトガ、本當ニ政府ノ希望サレル所ダト私共ハ考ヘテ居リマスノニ、此點ニ關スル限リハ、政府ハ國民ヲ御信用ニモナリマセヌシ、又議會ニモ白紙委任狀ヲ御要求ニナッテ居リマス、サウ致シマスト、本案ノ前提トナッテ居ルモノハ、國民ノ國家ニ對スル忠誠ヘノ疑惑デアリマス、戰時ニ際シマシテ、國民ガ信頼サレザルコトヲ豫想サレテ居リマス、サウシテ之ニ對スル拘束ト罰則トガ決メラレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ疑惑ヲ被リマシタ國民トシテハ、政府ニ對シテ釋然タラザルモノヲ持ツノハ當然デアリマス、法律ノ力ヲ以テ愛國心ヲ規定ショウト云フヤウナコトハ、私共國民ニ取ッテハ堪ヘ難キ屈辱ヲ感ズルモノデアリマス、斯ノ如キコトデアッテハ、政府ハ欲セザル無用ノ相剋ヲ好ンデ求メラレルト云フヤウナ結果ニ陥ッテハ參リマスマイカ、ソレヨリハ寧ロ一朝有

事ノ際、眞ノ日本精神ヲ發露セシムベク、今カラ國民ノ教養、思想ノ統一ニ對シ、全力ヲ傾注セラレマスコトガ、ヨリ效果的デハゴザイマスマイカ、寧ロ私共ガ恐レテ居リマスノハ、此ノ逆作用ガ政治ニ、經濟ニ及ボシテ、却テ政府ヲ苦シメ、國家ニ禍スルヤウナコトニナッテ行クノデハナイカト云フ點デゴザイマス、總動員目的達成ノ爲ニハ、國民ノ自發的、積極的ノ奮起心ヲ議會ニ對シテモ求メラレベキデゴザイマス、過去ニ於ケル帝國議會ガ、有事ノ際ニハ政府ノ緊急處置ニ對シマシテモ、能ク迅速應變ノ協賛ヲ爲シ、最大限ノ能率ヲ發揮シタ、サウシテ議會ノ活動ガ、能ク時局ニ處スベキ國民ノ認識ヲ深メ、方向ヲ示唆シ、國論ヲ統一シ、戰時體制ヲ打立テ來タノデアリマス、是ガ延イテハ物質方面ノ總動員ヲモ容易ナラシメテ居リマスルコトハ、政府モ御認メニナッテ居ルト思ヒマス、然ルニ今同其議會ニ對シマシテモ、機ニ臨ミ、變ニ應ズル能ハザルモノトシテ、總括委任ヲ御要求ニナッテ居リマス、斯クスルコトニ依ッテ、政府ハ舉國一致ヲ強調シナガラ、政府ト議會トノ摩擦ヲ激成サレマシタモノハ思ヒノ外デアラウト存ジマス、斯ウ論ジテ參リマスト、政府ハ國民ヲモ、議會ヲモ信頼

セズ、恰モ白紙委任ヲ強要サレマス、信頼セラレザル國民及ビ議會ノミガ、政府ヲ信頼シナケレバナナイデゴザイマセウカ、必然的ニ面白カラザル感情ガ醗酵サレマスルコトハ、已ムヲ得ナイト申サナケレバナリマセヌ、國民各層ノ様相ノ複雑サハ、一ツノ理念デ劃一的ニ統制ショウトスレバ、却テ思ハザル所ニ障礙ノ派生ヤ、副作用ガ起ルコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、由來世間ノ色々ノ批評ヲ聞キマスト、政黨ハ戰時ニナルト時局重大ノ名ニ眩惑サレテ、對立シナサ過ギル程和衷共同シ、何十億ノ豫算デモ、不思議ナ程器用ニ鵜呑ミラスルトモ非難スル者ガアルノデアリマス、モ少シ議論シテ練リ合ッテモ宜ササウナコトマデ遠慮シテ、不甲斐ナサ過ギルト云フ攻撃モアリマス、逆ニ吾々ハ時局ノ重大ナルガ故ニコソ、慎重ニ論議ヲ十分ニシテ、世人ノ期待ニ副ウテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、元來國家總動員ノ實施ハ、忠君愛國ノ精神ニ基キ、國民各自ノ自發的ノ協力ヲ基調トスベキモノデアリマシテ、本法立案ノ趣旨トスル所、亦其協力ヲ確保セントスルニ外ナリマスマイ、凡ソ近代戰ニ伴フ國家總動員ノ基礎ヲ爲スモノハ何デアルカ、政府ノ屢、申サレマスル通り、近代

戦ハ最早兵力ノミノ戦争デハアリマセス、其背後ニ於ケル一國ノ有スル物心兩方面ニ互ル總テノ力ヲ、戦捷ト云フ一ツノ最高目的ニ指向セシメ、戦線ト銃後トガ眞ニ一體トナツテ、國力對國力ノ戦闘ヲ行フコトデナケレバナリマセス、言換ヘマスレバ武力戰ト思想戰トガ、併行シナケレバナリマセス、其立前カラ申シマスレバ、特ニ舉國一致ノ體制ヲ取ル上カラ、人心ノ安定ガ最モ緊切ナル、而モ是ガ基礎條件ダト私ハ考ヘテ居リマス、杭州灣ニ上陸シマシテ凱旋セラレマシタ柳川中將モ、一體戦争ノ勝敗ト云フモノハ、兵力ヤ經濟力ヤナドヨリモ、精神力ニ依ツテ決スルコトヲ知ラネバナラスト、實驗ノ上カラ申述ベラレテ居リマス、ソコデ私ハ斯ウ云フ點カラ申シマシテ、ナゼ本案ハモット日本のデナカッタカ、私ハ本法ガ必シモ外國ノ立法ノ模倣デアルト言フ者デハアリマセス、併シサウ云フ感ジヲ國民ニ持タシメテ居ルコトハ、否マレナイ事實ダト存ジテ居リマス、中ニハ防共協定ノ締結以來、防共ノ趣旨其モノヲ直譯的ニ解釋致シマシテ、獨逸ヤ伊太利ノ政治經濟體制ニ追隨スルコトガ、恰モ防共ニ不可缺ノ條件ナルカノ如キ誤解ヲスル者サヘ出デ參ッテ居リマス、成程日、獨、伊ニハ共通セル

國內事情ハアリマセウ、併シ其事ガ必シモ「フツシヨ」化ノ必然性ヲ立證スルモノデハナイノデアリマス、舉國一致ノ爲ニ特別ニ訓練サレ、特別ナ國柄デアリマス日本國民ニ、私ハ斯ウ云フ立法ヲ要求サレマスコトハ、何カ其背後ニ私共ノ知ラナイ妖雲ガ掛ッテ居ルノデハナイカト思ハザルヲ得ナイノデアリマス、陸軍大臣ハ曩ノ機會ニ於テ、敗戦ノ理由ヲ色々外國ノ例ニ就テ、御説明ニナリマシタケレドモ、陸軍大臣ノ仰シヤイマシタヤウナ露西亞ヤ獨逸ガ、實際ハ法制的ナ動員體制ハ私ハ一番整ッテ居ッタモノト考ヘテ居リマス、ナゼ其動員體制ガ整ッテ居ッテ敗レタカニ付テハ、物質方面ノ完備シテ居ッタノニ反シテ精神動員ニ缺如シテ居ッタ所ニ、原因ガ潜シテ居ッタト私共ハ考ヘテ居リマス、「ツアー」ニシテモ「カイザー」ニシテモ、此二ツノ國ハ官僚專制ノ國デアリマス、ソコデ露西亞ノ兵隊ハ命令ノ儘ニ能ク戰ヒマシタ、併シ彼等ハ何ノ爲ニ戰フベキカノ理解ヲ能ク與ヘラレテ居リマセスデシタ、獨逸ノ兵ハ「カイゼル」一人ノ野心ハ満足サセマシタデセウ、併ナガラソレガ國民ニハ能ク呑込メテ居ラナカッタノデアリマス、假ニ日本デナシニ、他ノ國デモ現在獨裁政治デナイ所ニ、此獨裁政治ガ

許サレルト致シマシテモ、私ハ是ナラバト思ヘルヤウナ人格、力量、聲望、信頼共ニ備ハル人ガナケレバ、此對象ニハナラヌモノダト思ッテ居リマス、其獨裁シ得ラレルヤウナ人物ノナイ所ニ於テハ、外國ニ於テサヘス様ナコトハ爲シ得ルモノデハゴザイマセヌ、況ヤ日本ノヤウナ特別ノ國情ヲ持ッテ居リマス所ニ、斯ウ云フ思想ガ入ッテ參リマスルコトハ、私ハ我が國體ヲ知ラズ、國情ヲ察セズ、國民性ヲ辨ヘザルモ甚ダシキモノデアルト思フノデアリマシテ、斯様ナ思想ニ對シマシテハ、根本ニ於テ政府ハ之ヲ拂拭スベク努力サレナケレバナラスモノデゴザイマス、或ル人ハ總動員ト云フ大キナ極デ事態ヲ「フツシヨ」ニ動カサウトスル野心ヲ持ッテ居ル者モ、皆無デハナイト言ッテ居リマスルダケニ、私共ハ此點ニ特ニ留意ヲ怠ラナイデ居ル者デアリマス、近衛首相ハ曩ニ上聖天子ノ下、欽定憲法ガアリ、獨逸ヤ伊太利ノ如ク、下カラノ力ガ上ヲ支配スルヤウナ國トハ違フト仰セラレマシタ、全ク其通りデアリマス、ソレガ日本ノ政治ノ指導原理デアリ、私ハ萬邦ニ卓越シタ日本ノ有難サダト考ヘテ居リマス、併シ此考ヘ方ガ一般ノ人ガ全部サウ總理ノヤウナ立派ナ心掛デ居ッテ戴ケバ宜イノデアリマス

ガ、必シモサウトハ申サレヌト思ヒマス、革新思想ヲ昂揚シ、革新政策ヲ斷行致シマスコトハ、洵ニ結構デアリマス、併ナガラ昂揚モ斷行モ憲法ヲ無視シテハ成立タヌノデアリマス、獨逸ニ致シマシテモ、伊太利ニ致シマシテモ、諸外國ニ於テ憲法ヲ中止シ、或ハ變更シテ革新ヲ斷行シタ事例ハゴザイマセウケレドモ、斯様ナコトハ皇室ニ對スル尊崇ヲ、國民の信念トシテ堅持シテ居リマスル我國デハ、絶對ニ考ヘテモナラスコトト存ジマス、憲法堅持ノ信念ハ、實ニ斯ノ如キ國民の信念ノ上ニ打立テラレタモノデゴザイマスノデ、如何ナル革新モ憲法ノ範圍ニ於テノミ考ヘラレナケレバナライモノデゴザイマス、憲法ノ條章ニ一點デモ疑念ガゴザイマシテハ、我國政治ノ大本デゴザイマスルダケニ、政治上、思想上非常ニ今後ノ紛擾ヲ醸スコトニナリマスノデ、之ヲ貽サザルヤウ處置致シマスルコトガ、此現在立法院ニ席ヲ持ッテ居リマス私共ノ重大ナル共同責任ダト存ジテ居リマス、一般國民ノ心理カラ、一切ノ危惧ヲ拂拭シ、極メテ明朗ナ態度ヲ以テ、其成立ヲ心カラ納得スルコトノ出來マスルヤウ、政府ハ議員ニ對シテモ、亦間接ニ國民ニ對シテモ、諒解ヲ求メラレナケレバナラスノ

デアリマス、此點ハ政府ノ御考ト、實際今社會ガ考ヘテ居リマスルコトニハ、大分隔リガゴザイマスルノデ、私共ハ今後ノ思想ノ問題ニ付テ、非常ニ憂慮ヲ致シテ居ルモノデゴザイマス、何故私ガ今ノヤウナコトヲ申上ゲタカト云フナラバ、ソレニハ政府ハ先ヅ國民ニ落付キト力トラ與ヘテ、少々ナコトガアツテモ動搖シナイヤウニ、確乎不拔ノ信念ヲ植付ケテ置カナケレバナリマセヌ、言換ヒマスレバ、國家ガ世界ニ向ッテ大キナ活動ヲ開始シヨウト致シマスル際ニハ、ドウシテモ此國民ノ肚ノ中ニ確乎不拔ノ信念ヲ植付ケテ、其上ニ色々ノ工作ガ施サレナケレバナラスモノデゴザイマスルノニ、現在私共ノ見ル所デハ、國家總動員法ノ提出ヨリモ、其前ニモットハッキリサセテ置カナケレバナラス問題ガ、ハッキリシテ居ラスノデアリマス、其一ツノ現レトシテ、最高學府タル帝大ニ、色々ノ問題ガ起ッテ來テ居リマス、或ハ其處ヲ人民戰線ノ本營ダトモ批評スル者ガゴザイマス、第二次人民戰線ノ檢舉ノ大嵐ガ、帝大ノ經濟學部ヲ襲ヒマシテ、大内、有澤、脇村ナドノ教授ガ檢舉セラレルコトニ至ッテ居リマス、サウシテ久シキニ互ル大學自治ノ傳統ハ搖ギ出シタノデアリマス、更ニ京都大學デハ天野教授ガ

軍ノ忌諱ニ觸レマシテ、其著書ガ發禁ヲ餘儀ナクサレタト云フ狀態ニナツテ居リマス、之ニ對シテ文部大臣ハ、學内ノ刷新ニ付テハ從來努力シテ來タガ、一再ナラズ不祥事件ヲ惹起シタコトハ、洵ニ遺憾デアリマスト、貴族院デハ遺憾ノ意ヲ表明サレテ居リマス、人民戰線ノ檢舉ノ當否ハ裁判ノ結果ヲ俟タナケレバ分リマセヌ、併シ東大ガ赤化思想ノ溫床デアルカノ如キ感ジテ私共ニ持タセ、サウシテ現實ニ被檢舉者ヲ出シマシタ國費支辨ノ大學デアルダケニ、文部當局ノ責任ハ私ハ免レヌト思ヒマス、文部當局ハ此大學當局ガ問題ヲ解決シ切ラズニ、之ヲ教授會ノ投票ニ諮ヒ、學部長ハ採決ヲシ兼ネテ、辭表ヲ提出スルト云フ所マデ參ッテ居リマスルコトハ、洵ニ嘆ハシイ次第ダト存ジテ居リマス、先生ガ赤化檢舉ノ網ニ擧ゲラレテ居リマスル際ニ、生徒ノ方ハ八千人モ擧ゲラレタ、半數以上ガ彼ノ不良學生ヲ引掛リマシテ、父兄ヲシテ少カラズ驚愕セシメテ居リマス、聞ク所ニ依リマスレバ、文部大臣ハ大學ノ根本的立直シノ御決意ガアルト云フコトデアリマス、ソレダケノコトハナケレバナリマセヌ、私ハ此處デ是ダケヲ前提ニ致シテ、一ツ質問ノ本筋ニ入ッテ見タイト思ヒマス

文部省ハ今回中等教育ニ使用スル國定教科書ヲ發行サレルコトニナツテ居リマシタガ、急ニソレガ沙汰止ミニナリマシテ、僅ニ師範學校ノ修身教科書ノ一ツダケヲ發行サレルコトニナツタヤウデアリマス、何ガ故ニ之ヲ全部御發行ニ相成ラナカッタノカ、特ニ教學刷新國體明徴ガ叫バレテ居リマスル際、折角ノ機會ヲ取逃ガシテ、何時實現サレルヤ分ラヌヤウニナリマシタコトハ、洵ニ遺憾ノ次第デアリマス、實ハ今ノ國定ナラザル教科書、即チ中等學校ノ現在ノ檢定ノ教科書ニハ、日本ノ國體ヲ傷ツケ、我ガ三千年ノ歴史ヲ汚ス部分ガ記サレテゴザイマスガ、此點ニ對シ文部省ハ今日マデ何等積極的ニ訂正ヲモ命ゼラレナイシ、又之ヲ容認サレテ居ッタノデアリマス、即チ日本ノ國體ハ各時代ニ於テ異ツタ特色ハ持ッテ居リマスルケレドモ、併シドウ云フ變化推移ヲ致シマシテモ、常ニ一貫シタ我國ノ肇國ノ精神ガ儼然ト存シテ居ルノデアリマス、國史ノ發展ガ即チ肇國精神ノ發展デアリ、肇國精神ノ發展ガ永遠ノ生命ノ創造デアリマス、換言スレバ肇國ノ精神ガ、國史ヲ貫イテ連綿トシテ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、故ニ我國ニ於キマシテハ、國史ハ國體ト共ニ終始シテ居リマス、隨テ國史ニ現レテ居リマスル大化ノ改新

モ、明治ノ維新モ總テハ肇國ノ大本ニ還ルコトニ依ッテ正シキヲ顯ハスノ働キデアリマス、臣民ガ常ニ此大義ニ基イテ皇謨ヲ翼贊シテ、光輝アル國史ノ成跡ヲ擧ゲ來ッタノデアリマス、他ノ國家デハ革命ヤ滅亡ニ依ッテ、其國ノ命脈ハ斷タレ、建國ノ精神ハ亡ンダノデアリマス、ソコカラ外國ノ國家ノ歴史ガ生レマス、日本ダケハ萬邦無比、歴史ヲ超越シタ歴史ヲ形成致シテ居リマシテ、此點ハ三千年ノ歴史ノ中、一ツモ日本精神ガ中斷サレタコトハナイノデゴザイマス、今文部省デ考ヘラレテ居リマスコトハ、少クトモ此日本ノ國史ノ中デ、三百年ダケハ日本精神ガ中斷サレタモノト云フ觀念ヲ御持チニナツテ居ラシヤルト思ヒマス、事實又其通りニ扱ッテ居ラレマス、是ガ實ハ今度ノ日支事變ニモ非常ナ禍ヲ起シテ參リマシタ、曩ニ臺灣デモ此問題ハ屢、取上ゲラレテ來マシタ、今ヤ日支事變ガ起リマシテ、支那ニ對シテ宣撫工作ヲシナケレバナラスト云フ時ニモ、是ガ爲ノ障礙ガ非常ニ大キナモノトナツテ現レテ來タノデアリマス、即チ日本ノ歴史ガ、文部省自體ノ著ハシタモノモ、又文部省ガ檢定致シマシタモノモ、聖德太子ノ十七條ノ憲法カラ大寶律令ナドノ間ヲ、總テ其當時ノ隋唐ノ文物制度ヲ模倣シタト云フコト

ニ明記サレテ居リマスノデ、此隋唐ノ模倣時代ガ、日本ニハ三百年續イタコトニナッテ居

リマスガ、其時分ノ向フハ、即チ黄河ノ流域ヲ俗ニ中原ト申シマシタ、揚子江ノ流域ガ

第二期ニ拓ケタ所デアリマスガ、是ハ今ノ南京地方ガ中心デアリマス、第三期ニ拓ケ

タ所ガ白河ノ方面デアリマスガ、是ガ北京ノ地方デアリマス、今ヤ皇軍ハ此占領地域

内ニ於テ、色々ト宣撫工作ヲ致シテ居リマスガ、此日本ノ歴史ニ明記サレテ居リマス

ル三百年間ニ互ル隋唐ノ文物制度ヲ、日本ハ模倣シタトノ記載ガ、支那ノ方ニ逆ニ使

ハレマシテ、支那ハ日本ニ對シテハ先生デアリ、支那ノ模倣國ガ日本デアルノダト云

フコトニ逆用サレマシタ爲ニ、臺灣デハ長イ間此教科書ヲ使デ不便ヲ感ジテ居タモ

ノガ、更ニ今回、支那ニ於テ大キナ支障ヲ蒙ルコトニナリマシタ、私共ハ日本ハ隋ト

唐トノ模倣ヲシテ、日本精神ガ此間中絶シタト云フヤウナ感ジハ決シテ持つベキモノ

デモナク、又事實サウデナイコトガ立證サレルト思フノデスガ、ヤハリ文部當局ハ小

野妹子ガ隋ニ參リマシテ以來、菅原道實ノ遣唐使ヲ中止致シマシタ此三百年間ハ、隋

ト唐トノ模倣時代デアッテ、制度文物共ニ彼ニ模倣シタト云フ見方ヲシテ居ラレデ

リマセウカ、此點ニ付テ文部大臣ノ御意見ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○木戸國務大臣 眞鍋サンニ御答ヲ致シマス、只今御話ノ中等教育ノ歴史教科書ニ、

大化ノ改新ノ條ニ於キマシテ、三百年バカリ日本精神ガ失ハレテ居ル、隋唐ノ制度ヲ

模倣シタト云フコトガアル爲ニ、色々ノ支障ガアルト云フ御尋デアリマシタ私ハ中

等學校ノ歴史ノ其本ハ存ジマセヌガ、三百年間假ニ隋、唐ノ制度文物ヲ取入レマシテ、

之ヲ日本ノ制度トシテ使用致シマシテモ、日本精神ガ其期間ニ失ハレタトハ考ヘラレ

ナイノデアリマシテ、若シ萬一左様ナ誤解ノアルヤウナ記述ガ歴史ノ本ノ中ニアリマ

スルナラバ、ソレハ早速訂正シナケレバナラスト存ジマス、併シ此歴史ノ教科書等ニ

付キマシテハ、専門ノ權威アル方々ニ依リマシテ、十分調査サレ編纂サレタノデアリ

マスカラ、只今直チニ眞鍋サンガ仰シヤルヤウナ意味ニ於テ書カレテ居ルヤ否ヤニ付

テハ、御答ハ致シ兼ねル次第デアリマス

○眞鍋(儀)委員 恐ラク文部大臣ハ是程明確ニ模倣デアルト云フコトガ記載サレテ居

ルコトヲ、御承知ナイノデアリマセウ、隨テ津浦線ヤ京漢線マデ參リマシテ、私共ガ痛切ニ感ジタコトガ、文部大臣ニハ映ッテ行

カナイダラウト思ヒマス、現在教科書トシテ使用シテ居リマスモノハ、國定ヲ中等學校ハ用ヒテ居リマセヌカラ、大體ニ付テ私ハ殆

ド用ヒラレテ居リマスル教科書全部調べテ見マシタ、例ヘバ新體國史教科書ト云フ三省堂

カラ出シマシタモノノ中ニモ、孝德天皇ヲ御代ニ皇太子中大兄皇子、中臣鎌足ト謀リ隋唐ノ

制度ニ倣ッテ政治ノ革新ヲ行ツタト書イデアリマス、大寶律令ハ主ニ隋唐ノ制度ニ倣ヒト二

十九頁ニ書イデアリマス、此唐ノ制度ニ倣フト云フコトハ非常ニ多ウゴサイマシテ、此三

十一頁ニモ隋唐ノ制度ニ倣ヒトアル、三十九頁ニモ亦唐ニ倣ッテト書イデアアル、五十六頁

ニハ日支ノ國交全ク中絶スルニ至ツタトアル、其結果我ガ文化ガ唐ノ模倣ヲ此時ニ初

テ脱スルノデアリマス、百五十一頁ニハ外來文化ノ模倣ガ此時ニ止マルト書イデア

リマス、サウシテ之ヲ見テ居リマス、總テハ隋ト唐トノ模倣ダト云フコトガ、此中

カラ浮ンデ來ルノデアリマス、又大日本圖書株式會社デ出シテ居ル新制國史ニモ、

第二十三頁ニ「隋唐ノ制度ニ倣ヒ大ニ新政ヲ布カレ世ニ之ヲ大化ノ改新ト謂フ」ト書

イデアリマス、二十七頁ニモ「唐ノ制度ニ倣ヒ」ト明ニ書イデアリマス、二十九頁ニ

モ「唐ノ制ニ倣ヒ」ト書イデアリマス、四

十九頁ニハ「支那ノ模倣カラ」ト書イデア

ル、七十一頁ニハ「唐制模倣ト對シ」ト書イデアリマス、又富山房カラ出シテ居リマス「新

體日本歴史」ニモヤハリ同ジコトガ書イデアリマス、「世ニ之ヲ大寶令ト謂ヒ唐ノ制度ニ

倣ヒ」三十六頁ニモ「唐制ニ倣ヒ」トアリ、六十二頁ニモ「唐風ノ模倣」ト書イデアリマ

ス、斯ウシテ色々ノ本ヲ見マシタガ、總テハヤハリ唐制ノ模倣ト云フコトガ謳ハレテ

居ルノデアリマス、恐ラク之ニ對シテ文部省ハ、成程ソレハ文部省デ檢定シタモノニ

相違ナイ、ケレドモ文部省自體ノ責任ヲ持ツヨリハ、此檢閲ヲシタ方面ノ責任者ガア

リ、又著者ニ對シテ責任ヲ負ハセルヤウナ考デ、責任逃レニ御考ニナルカモ知レマセ

ヌケレドモ、文部省ノ立前ガ大體此三百年間ハ日本精神ガ中絶サレタコトニ付テハ御

異見ガアル筈ハナイ、小學國史教師用書ノ上、是ハ文部省デ出シタモノデアリマスガ、

「孝德天皇 皇極天皇ニ繼ギテ立チ給ヒ、茲ニ御英斷ヲ以テ政治、社會ノ組織上ニ一大

改新ヲ決行シ給ハントスルニ當リ支那ノ制ニ倣ヒ」ト文部省自體モ書イテ居リマス、其外

九十二頁ニモ此律令ヲ指シテ「主ニ唐制ニ據ル」トヤハリ向フノ模倣ノ意義ヲ書イデア

ル、其百頁ニハ「元明天皇ハ先ヅ唐制ニ倣

ヒテ」ト書イテ居リマス、百三十七頁ニモ「隋唐ノ模倣ニ過ギズ」ト書イテアリマス、百五十六頁ニモ「大陸ノ模倣ニ過ギズ」ト書イテアリマス、百八十一頁ニモ「兎角模倣ノ傾向」ト書イテアル、是ハ唐制ヲ日本ハ模倣シタヤウニ取ラザルヲ得ナイノデアリマス、文部大臣ハ、只今立派ナ學者ガ居ッテ、是ハ今マデ認メラレテ來タモノダカラ、君カラサウ云フコトヲ言ハレテモ、急ニハ贊成ガ出來ナイト云フヤウナ言葉デハナカッタガ、御心持デアルヤウニ私ハ思ヒマス、ケレドモ是ハ私一人ノ議論デハゴザイマセス、現在ノ此文部省ノ國史ノ立前ニ付テ嫌ラザル者ハ、此點ニ對シテ非常ニ關心ヲ持ッテ居ルノデアリマス、サウシテ或ハ天皇機關説ヨリハ此問題ノ方ニ、國史ヲ通ジテノ重大ナル問題ガ潜シデ居ルト考ヘテ居ル者モゴザイマス、何デ大化改新ガ模倣デアルノカ、私ハ色々ノ史實ヲ例證シテ、ドウシテモ此際文部省ニ此點ダケハ即座ニ處置シテ貰ハナケレバナラスト存ジマス、成程大化改新ノ前提ヲ爲スモノハ、聖德太子ノ憲法十七條デアリマス、聖德太子ハ此天ヲ覆サントスル逆臣ノ出ルコトヲ豫見セラレマシテ、敢然憲法ノ起草ニ筆ヲ染メラレタノデアリマス、國家改造ノ根本精神ヲ茲

ニ明ニサレテ居リマス、サウシテ此聖德太子ノ御理想ガ中大兄皇子ニ依ッテ實行ニ移サレ、茲ニ大化改新ガ實ヲ結ンダノデゴザイマス、其大化改新ノ先驅ヲ爲シマスル聖德太子ノ十七條ノ憲法ハ、先ヅ其一番最初ニ、上ハ 天皇ヨリ下ハ庶民ニ至ルマデノ準則ト國家ノ向フベキ方向トヲ定メラレテ居リマス、即チ政治ノ理想ヲ茲ニ示サレタモノデス、君臣一體、上下親和ヲ宣言セラレ、時弊ノ根源ダッタ氏族相剋ノ情弊、例ヘバ蘇我氏ノ如キ、他氏族ヲ排撃シ、時ニ皇室ニ迫ルガ如キ驕慢ナル態度アルニ對シマシテ、正面カラ之ヲ御否定サレタモノデアリマス、殊ニ其第三番目ハ、現在ノ大日本帝國憲法ノ第三條ト同ジャウニ、天皇ハ神聖ニシテ侵スベカラザルコトヲ宣示セラレ、「詔ヲ承ケテハ必ズ謹メ、君ヲバ則チ天トシ、臣ヲバ則チ地トス、天覆ヒ、地載ス、四ノ時順リ行キ、萬ノ氣通フコトヲ得」此聖德太子ノ憲法ノ文ハ、決シテ隋唐ノ模倣デス様ナモノガ出來タモノデハゴザイマセヌ、殊ニ大化改新ノ御勅文ニモ「惟レ神ハ我子孫應ニ治ムベシ」ト事寄セラレテ居リマシテ、水戸義公ハ是レ日本精神ノ發揮ナリト申サレテ居リマス、孝德天皇ノ御即位ニ依リマシテ、新シキ日本ガ茲ニ輝カシイ

黎明ヲ迎ヘタモノデアリマシテ、決シテ私共ハ向フノ制度ヲ模倣シタノデハナシニ、天皇直接ノ中央集權ニ革新サレテ、萬世一系ノ大義ヲ明ニセラレタモノデ、建國ノ大精神ヲ熱説サレタモノデアリマスカラ、斯様ナコトニ對シマシテ隋唐ノ模倣ナドト云フコトハ、此際一切政府ハ抹殺セラルベキモノダト存ジマス、殊ニ此 孝德天皇ハ群臣百僚ヲ集メラレテ「今ヨリ以後君ニ二政ナク臣ニ二朝ナシ、若シ此盟ニ貳カバ天災シ地妖シ、皎ナルコト日月ノ如シ」ト仰セラレテ居リマシガ、此御誓文ハ、中大兄皇子ガ大極殿ニ蘇我入鹿ヲ弑セラレタ日、鮮血未ダ拭ヒモ敢ズ、即日御親ヲ筆ヲ執ッテ起草セラレタモノデアリマス、御言葉ハ簡單デゴザイマスガ、氏族制度打倒ニ對スル牢固タル決意ヲ示サレテ居リマス、皇民皇土ノ御精神ニ基ク大革新斷行ノ燃ユルガ如キ御信念ガ、茲ニ現ハレテ居ルノデアリマシテ、斯様ナルコトガ分リマスレバ、ドウシテモ是ハ文字ヲ訂正サレナケレバナラスモノダト存ジマス、若シ明治ノ御一新ト大化ノ改新トガ同ジャウナ御心持デ行ハレタモノトスレバ、ヤハリ 明治天皇モ之ト同ジャウナ形式ヲ取ラレテ、紫宸殿ニ御出御ニナリ、公卿百僚ヲ率キテ天神地祇ヲ祀ラレテ、五箇條ノ御誓文ガ出サレ

テ居ルノデアリマシテ、其形ニ於テモ大化ノ改新ト明治ノ御一新トハ、同ジャウニ私共ハ見テ居ルノデアリマス、若シモ文部省ガ大化ノ改新時代ハ、日本ガマダ文化ガ進マズ、ドウシテモ向フノ模倣ヨリ以外ニナカッタノダト云フ御考デゴザイマスレバ、私ハ茲ニ改メテ斯ウ云フコトヲ申上ゲテ見ナケレバナラス、成程日本ノ大化ノ改新時代ハ、東洋史上デハ何レノ國モ革新時代ニ入ッテ居リマシタ、日本モ支那モ朝鮮半島モ同ジデス、向フデハ萬里ノ長城ヲ築キマシタ、隋ノ煬帝、支那ノ帝王トシテハ珍シイ唐ノ太宗、半島デハ金ノ春秋、高麗デハ乙支文德、併シ日本デモ大化ノ改新ノ大立者デアラレマス聖德太子、中大兄皇子、中臣鎌足、而モ是マデ日本ハ決シテ外國ノ文化ヲ吸收シテ居ナカッタノデハアリマセヌ、モウ早クカラ日本ハ色々ナ文化ガ開ケテ居リマス、傳説ナドニ依リマシテハ、ハッキリシタコトハ申サレマセヌケレドモ、大和民族ト云フモノハ太古カラ、所謂高天原ニ居リマシタ時分カラ既ニ相當ナ文化ヲ持ッテ居リマス、其後ノ進歩ハ埴輪等ニ依リマシテモ想像サレマス、倫理モ道德モ發達シ、民族ガ一般ニ清潔ヲ好ミ、快活デ進取ノ氣象ニ富ミ、忠孝ノ觀念、尙武ノ精神等ハ決シテ外國ト

同ジャウナ出發點ニ立ッテ居ルノデハナク、日本獨特ノ文化ヲ最初カラ打建テ來タモノデアリマス、後デ成程隋唐カラ色々ナ文化ガ入ッテ參リマシタ、朝鮮ノ文化ガ神功皇后ノ時ニ新羅征伐カラ入り、支那ノ文化ガ初メテ朝鮮カラ日本ニ入り、印度ノ文化ガ支那カラ朝鮮ヲ經テ日本ニ入り、又希臘ノ文化ガ印度文化ノ東漸デ日本ニ達シ、色々ノ接觸面ヲ持ッテ居リマス……

〔委員長、アレハ質問デスカ〕ト呼フ者アリ

○小川委員長 眞鍋君ニ一言申上ゲマスガ、本案ニ關係シテ御質問アランコトヲ願ヒマス

○眞鍋(儀)委員 本案トノ關係ハドウ云フヤウニナッテ居ルカト申シマス、此問題カラ先ニ解決シテ掛ラナケレバナリマセヌ、日本ハ三千年間此光輝アル歴史ヲ一度モ汚シタコトガナイ、此觀念ノ上ニ立ッテ初メテ私共ハ非常時モ乗切レルモノダト考ヘテ居リマス、サウシテ今此問題ノ根本的解決ヲ付ケテ貰ハナケレバ、日支事件ガ進ムニ連レテ色々ナ故障ガ生ジテ參リマス、私ハ日本ノ國家ノ永遠ノ生命ノ爲ニモ、又日本ノ歴史ノ爲ニモ、ドウシテモ此隋唐ノ模倣時代ハ日本デハ參酌ハシタ、醇化ハシタ、攝取ハ

シタ、ケレドモ斷ジテ日本ハ外國ノ制度文化ヲ模倣シテ、日本精神ガ中斷サレタコトハナイ、此點ヲハッキリ此處デ決メテ掛ラナケレバ、此根本ノ決ラヌ上ニ、非常時モ何モナイト私ハ考ヘテ居リマス、論議ノ立テ方ガ私ハ違フノデス、ドウシテ一體文部省ハ模倣々々ト言ハレルノカ、日本デハ成程此大化ノ改新ノ時ニ、國土ハ返上サレマシタケレドモ、ソレハ神代ノ昔ニモ日本ニハチヤント大國主命ガ國土ヲ返上サレタ例ガアルノデス、國土ヲ返上シタコトガ隋唐ノ模倣デハアリマセヌ、又色々ナ制度モ定メマシタラウケレドモ、神武天皇ノ時、既ニ中央デハ天種子命、天富命、道臣命、大久米命、可美真手命、斯ウ云フ方々ガ近衛府ヲ設ケ、朝官モ置イタ、此制度ガ中央制度デアリ、地方制度トシテハ國造ガ大和、河内、山城、伊勢、紀伊、豐前トチヤント分レテ國ヲ成シテ居リマス、サウシテ縣主モル(崇神天皇ノ時ニハ四道將軍ヲ置キ、十一國造ヲ置キ、戸口調査モヤッテ居ルノデアリマス、景行天皇ノ時ニモチヤント七ツノ國ヲ殖ヤシ、此時初メテ日本ハ朝鮮ト交通スルニ至ツタガ、其朝鮮ト交通以前ニ是ダケノコトハ日本ニアルノデス、成務天皇ノ時ニヤハリ中央デハ大臣ガアリマス、地

方デモ國、縣、里、邑ナドガアッテ、國造ナドハ日本ヲ六十四ニ分ケテ居リマス、サウシテ十五代ノ應神天皇ノ時ニ初メテ百濟カラ阿直岐ガ來テ居ル、〔委員長、モウ現代ニ早ク返シテ貰ヒタイ〕ト呼フ者アリ〕サウ云フ風ニナッテ居リマスノニ、政府ハ一體何デ模倣ダト言ハレルノデゴザイマス、私ハ其意ヲ得ナイノデアリマス、セメテ政府ハ斯ウ云フコトハ言ヘマセヌカ、明治天皇ノ刑律改撰ノ詔ノ中ニ「我大八洲ノ國體ヲ創立スル遂古ハ措テ論ゼズ、神武以降二千年、寛恕ノ政以テ下ヲ率キ、忠厚ノ俗以テ上ヲ奉ズ、大寶ニ及ンデ唐令ニ折衷スト雖モ其律ヲ施スニ至テハ」トアリ、明治天皇ノ刑律改撰ノ詔ノ中ニ「折衷」ト書イテアリマス、又立憲制度調査ノ爲メ伊藤公ヲ歐洲ヘ派遣遊バサレル時ニモ、成程憲法制定ノ爲ニハ外國ノ事例モ調べナケレバナラヌ、併シ「各國ノ政治ヲ斟酌シテ以テ採擇ニ備フルノ要用アルガ爲メ」ト仰セラレテ居ルノデアリマシテ、何トシテモ私ハ醇化トカ、攝取トカ、或ハ斟酌ト云フ文字ナラバ、ソコニ國體ヲ傷ツケルヤウナコトハゴザイマセヌガ、模倣ト云フ文字ヲ御使ヒニナッテ居ル限りハ、ドウシテモ制度文物ノ模倣ガ日本ノ國史ノ成跡ヲ傷ケルモノダトノ斷案

ヲ下サズニハ居レマセヌ、私ハ質問ノ一巡シタ後デアリマシテ、私カラ道德的ニ時間ノ制限ヲ受ケルヤウニナッテ居リマスノデ、質問應答ハ省キマシテ、結論トシテ今申上ゲタコトニ付テはダケノコトヲ私ハ御伺ヒ致シマス

先ヅ總理大臣ニ、此日本ノ文部省ノ發行スル國定教科書ニ模倣ト云フ文字ヲ用ヒ、或ハ隋、唐ニ制度、文物共ニ倣フト云フ言葉ヲ使ッテ居リマスルコトニ對シテ、總理大臣ハドウ云フ御心持デアリマス、ハッキリ一ツ御答ヲ願ッテ置キタイと思ヒマス

○近衛國務大臣 只今御話ノ教科書ハ、マダ讀シデモ居リマセヌノデ、能ク取調べタ上デ御答致シマス

○淺沼委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メマス、宜シウゴザイマス

○小川委員長 宜シウゴザイマス

○淺沼委員 委員長ニ御伺致シマスガ、アト質問者ハ何人位殘ッテ居リマス、今マデ濟ンダノ何人デスカ、一寸ソレヲ先ニ御伺致シマス

○小川委員長 今濟ミマシタノ八十人デ、アト二十七人殘ッテ居リマス

○淺沼委員 アト二十七人殘ッテ居リマス

テ、今ノ調子デ行キマス、案ノ審議ハシ
ナケレバナリマセヌケレドモ、會期中ニ質
問ガ終ルカドウカ、非常ニ疑ハザルヲ得ナ
イヤウナ狀況ダラウト思フ、而モ衆議院ニ
於キマシテ、大體案ノ目鼻ヲ付ケマシテ、
本會議ニモ掛ケ、貴族院ニモ送付シナケレ
バナラスノデアリマシテ、是ハオ五ノ自重ノ
程度ニ於テ、質問ノ要項其他モ決定シナケ
レバナラスト思ヒマスガ、大體ニ於テ各黨
派ニ於テハ、一巡シタト思フノデアリマス、
唯殘ッテ居リマスノハ、第二控室並ニ東方會
ガ殘ッテ居ルノデアリマシテ、ソレノ黨派
ヲ結成シテ居ル所ニ於キマシテハ、大體質
問ガ終了シテ居ルノデアリマスカラ、東方會
ト第二控室ガ聽カントスル所ヲ聽ケバ、黨
トシテハ大體是デモウ濟マシテモ宜イ位ノ
所マデ來テ居ルト思フノデアリマス、併シ
今マデノ慣例モアルコトデアリマシテ、之
ヲ一概ニ直チニ打切ルト云フコトモ出來ヌ
コトダラウト思ヒマスガ、此際委員長ハ各
理事ノ人々トモウ一遍御相談ヲ願ッテ、議
事ガ進行スルヤウニ御取計ヲ願ヒタイト思
フノデアリマス、尙且ツ其内容ノ中ニ、議
案ニ關係ナイ事項ハ成べく發言ヲ差控ヘ
ル、モウ一ツハ同ジ事項ハ成べく各黨ハソ
レゾレ黨ノ代表者ガ出テ來テ居ルノデアリ

マスカラ、重複スル事項ハ此際避ケテ、前
ノ質問者ガ聽カナカッタ點ヲ、ソレノ立
場ニ於テ聽クト云フ位ニ申合セラ願ッテ、議
事ノ促進ヲ圖ラレンコトヲ切ニ希望スル次
第デアリマス

○西岡委員 議事進行ニ付テ——只今淺沼
君ノ議事進行ニ對スル御發言、尤モ至極デ
アリマシテ、私モ同感デアリマス、淺沼君
ガ、只今委員長ハ理事ト能ク相談ヲシテ方
針ヲ決メト云フ御話デアリマスガ、大體
ノ方針ハ淺沼君ノ只今ノ御希望ノ通りノ申
合セハ出來テ居ル筈デアリマス、ダカラ此
申合セヲ體シテ委員長ガ一ツ強イ御決心
デ、議事ノ進行ヲ御圖リニナルヤウニ希望
致シマス

○小川委員長 私カラ一言致シマス、實ハ
理事ニ於キマシテ議事ノ進行ヲ圖リタイト
苦心ヲ致シマシテ、色々相談ヲシテ居ルノ
デアリマス、今日一巡致シマシタカラ、眞
鍋君ニモ其趣旨ヲ申上ゲテ置イタノデアリ
マシテ、眞鍋君モ只今自分ガ自制的ニ時間
ヲ制限スルト言ッテ居ラレルヤウデアリマ
スカラ、何レ眞鍋君ノ御質問ハモウ長クハ
續カヌノダラウト思ヒマスカラ、モウ暫ク
御待チヲ願ヒマシテ、御趣旨ニ從ヒマシテ
尙ホ今後理事ト相談ヲ致シマス

○眞鍋(儀)委員 議事進行ノ御話モ能ク分
リマシタ、極メテ簡單ニ御同致シマス、私
ハ是レ一ツ獲得スレバモウ宜イノデス、總
理大臣ハ只今見テ居ラヌト仰セラレタ、私
ハ全部見テ居ルノデアリマス、是ハ文部省
デ御拵ヘニナリマシタ本デゴザイマシテ、
マヤカシデモ何デモアリマセヌ、殊ニ外ノ
モノハ總テ是ハ文部省ノ檢定濟ノモノデア
リマス、サウシテ是ハ今ノ文部省デ拵ヘ
マシタ教師用ノモノデアリマシテ、篤ト一
ツ御覽ヲ願ヒタイ、外ノコトトハ違ヒマス、
此國體ニ關スル限りハ何物ヨリモ先行スベ
キモノデゴザイマシテ、此觀念ガ先ニ決
定シテカラダト、日支事變ノ宣撫工作デモ
何デモ旨ク行クト思ヒマス、此問題ノ爲ニ

臺灣デ何遍問題ニナッタノデゴザイマセウ
カ、御承知デゴザイマスマイ、本當ノ新附ノ
民トハ言ヒナガラ、此教科書ヲ利用シテド
ノ位教育上支障ヲ起サレタカ分ラヌノデア
リマス、又是カラ一番注意ヲシテ私共ガ宣
撫工作ニ當ラナケレバナラヌ所ニ、自然此
教科書ガ流レ行ッテ、日本ノ兒童モ讀ムコト
ダラウト思ヒマス、又之ヲ逆手ヲ使ハレル
コトヲ今カラ私共ハ想像ヲシテ居ルダケニ、
容易ナラヌ問題ダト存ジテ居リマスカラ、
何卒一ツ御調査ヲ至急御願シテ、御解決ノ

方法ガ願ハシイト思ヒマス、今ノ問題ニ對
シ、陸軍大臣ハ既ニ斯ウ云フ事實ノアルコ
トヲ御承知ニナッテ居ル筈ダト思ヒマスガ、
隋唐ノ模倣ト書イテアルコトニ對シテハ、
穩當デナイト云フ私ノ意見ニ對シ、御共鳴
ガ願ヘマシテゴザイマセウカ、此點ヲ一ツ
陸軍大臣ニ御同致シマス

○杉山國務大臣 私モマダソレヲ讀ンダコ
トハナイノデアリマスルガ、只今眞鍋君ノ
御述ニナリマシタ點デ御尤ナ點モアルヤウ
ニ感ジテ居リマス

○小川委員長 一寸眞鍋君ニ申上ゲマスガ、
總理大臣ハ六時頃カラ御用ガアッテ、退席セ
ラレルサウデアリマスガ、モウ宜シウゴザ
イマス

○眞鍋(儀)委員 宜シウゴザイマス——私
ハ餘リニ多ク材料ヲ持ッテ參ッテ居リマシテ、
非常ニ飛ビノニ申シマシタノデ、文部大
臣ニ御諒解ガ行カナカッタカモ知レマセヌ
ガ、今私ノ飛ビノナガラ説明致シマシタ
コトニ付テ、早速何カノ御手段ヲ願ハナケ
レバナラスト存ジマスガ、文部大臣ノ今後
ニ於ケル此問題ニ對スル御處置方ヲ御同致
シマス

○木戸國務大臣 先程モ申上ゲマシタヤウ
ニ、歴史ノ編纂ト云フコトハ將來ニ對シテ

モ非常ニ影響ノアルコトデアリマス、御話ノ御趣旨ハ能ク分リマシタ、篤ト考究致シタイト思ヒマス

○眞鍋(儀)委員 私ガ先ニ申上ゲマシタ一體何故中等教科書ヲ國定ニナサラナカッタカト申上ゲタコトモ、茲ニヤハリ關係ガアルノデゴザイマス、若シ私ノ申上ゲマシタ隋、唐ノ模倣ニ依ルト云フコトヲ少クトモ斟酌ナリ、攝取ナリ、或ハ參酌ナリ、サウ云フ風ナ意味ガ穩當ダト云フコトニナリ、又御調査ニナリマシテ、私ノ申上ゲマシタコトニ間違ヒガナケレバ、此處デ一ツ此次カラ出來ル教科書ニハ、隋唐ノ模倣ト云フ文字ヲ必ズ省クト云フ御言明ハ出來マセヌカ

○木戸國務大臣 只今モ申上ゲマシタヤウニ、篤ト考慮致シマス

○眞鍋(儀)委員 日本ノ國史ハ三千年炳乎トシテ繼續致シテ居リマス、私共ハ隋、唐ノ模倣ノ爲ニ三百年間傷ケラレタト云フコトハ、御調査ニナラナクトモ此點ハ明確ニ、左様ナ日本ノ歴史デハナイトハッキリ御答辯ガ出來ナケレバナラヌ筋合デアリマスガ、如何デアリマスカ、マダ日本ノ國體ニ對シテ御疑念ヲ持ッテ居ラシヤイマスカ

○木戸國務大臣 先程一番初メニ私ハ眞鍋サンニ御答シマシタガ、隋唐ノ模倣ト云フ

字ガドウ云フ意味デアルカハ別トシテ、三百年間日本精神ガ失ハレタコトハナイト確信シテ居ルト云フコトハ申上ゲマシタ、其意味ニ於キマシテ、歴史ノ編纂ニ付テハ私モ素人デアリマス、相當ノ委員ヲ集メマシテ作ッテ居ルモノデアリマスルカラ、篤ト考慮スルト申上ゲタノデゴザイマシテ、我國ニ於テ三千年來日本精神ガ失ハレタコトハナイト云フコトハ、ハッキリ申上ゲタノデアリマス

○眞鍋(儀)委員 文部省ノ直接斯ウ云フ事務ニ付テ御携ハリニナッテ居ル方ノ方デ、此記載ノ事實ハ御承知ニナッテ居ル筈デアリマスガ、此制度文物總テ隋唐ノ模倣ニナッテ居ッタト云フコトニ付テ、ドウ云フ見解ヲオ持チニナッテ居リマスカ、一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○石井政府委員 只今ノ御説ニ對シテ、直接携ハッテ居ル者ト致シマシテ申上ゲタイト思ヒマス、日本ノ歴史ガ肇國以來連續トシ、其間日本精神ト云フモノガ連續トシテ繼續シテ居ルト云フコトハ、只今大臣カラ御話ガアッタ通りデアリマス、只今ノ大化ノ改新ノコトニ付キマシテハ、大體先程御述ニナリマシタ隋唐ノ制ニ見倣ヒト云フコトガ書イテアルノデゴザイマス、併シ其前後ニハ大抵我ガ國體ニ基キトカ、我國ノ固有

ノ風俗ヲ參照シテトカ云フヤウナ意味ノ文句ガアリマスノデ、先程カラ御話ノ隋唐ノ風ヲ攝取シ、醇化シタト云フコトト、意味ニ於テハ一向變リガナイモノト存ジテ居リマス、國定ノ御話モアリマシタガ、是亦同様デアリマス、何分ニモ多數ノ檢定書ノコトデアリマスカラ、或ハ全部サウデアルト云フコトハ申上ゲ兼ネル次第デゴザイマスガ、大體ハサウダト思ッテ居リマス

○眞鍋(儀)委員 多數ノ本デゴザイマスカラト云フ説明デアリマススケレドモ、私ハ今文部省ノ中等教科書ニ檢定サレタモノヲ言ッタ上ニ、更ニ文部省デ御編纂ニナッテ居リマスル此教師用ヤ生徒用ヲ持ッテ來テ御話ヲシテ居ルノデアリマスカラ、人ガヤッタコトノヤウナ御返事デヤ困リマス、私ハ一ツ言葉ノ上デ此點ダケ言ッテ下サイ、アナタノ仰シヤッタヤウニ日本精神ガ失ハレテ居ナイヤウナコトガアッタニ致シマシテモ、隋唐ノ制度ヲ模倣スルト云フ、是ダケノコトハ又續ケテ教科書ニ御載セニナリマスカ、教師用ニ御載セニナリマスカ、此點ラ一ツ伺ッテ置キタイ

○木戸國務大臣 只今ノ御話ノ點ハ先程來御答致シテ居リマスルガ、若シ其記述ノ形ガ眞鍋サンノ御考ノヤウナ誤解ヲ招クヤウ

ナ點ガアリマスルナラバ考慮スルノデアリマスガ、歴史ノ編纂ニ付キマシテハ相當ノ委員ヲ以テ慎重ニヤッテ居ルノデアリマスルカラ、此席ニ於テ如何ナル處置ヲ執ルト云フコトハ申上ゲ兼ネル次第デアリマス、篤ト考慮致シマス

○眞鍋(儀)委員 不満足デアリマスガ、私ハ是デ止メマス

○小川委員長 小高長三郎君

○小高委員 私ハ總理大臣、陸軍大臣、內務大臣、文部大臣、企畫院總裁ニ御質問ヲ申シタイノデアリマスルガ、總理大臣ハ御留守ノヤウデアリマスルカラ、先ヅ私ハ陸軍大臣ニ、此法案ヲ提案サレマシタニ付キマシテ、杉山陸軍大臣ノ御信念ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、ナゼ之ヲ私ガ陸軍大臣ニ御質問スルカト申シマスルト、過般本法案ガ本議場ニ提案サレタル當初ニ於テ、總理大臣ハ御病氣ノ爲、廣田外務大臣ガ代ラレテ提案ノ理由ヲ述ベラレタ、此理由ガ僅ニ六分デアリマス、吾々議員ハ之ヲ審議スルニ當ッテ、頗ル疑惑ヲ持ッタノデアリマス、疑懼ノ念ニ堪ヘナカッタノデアリマス、ナゼナラバ我が立憲國ニアルベカラザル此大法案ニ對シテ、而モ提案理由ガ僅カ六分ニ依ッテ、ドウシテ吾々

國民ガ納得シ得ルカト云フ感ジデアリマス、同時ニ之ニ對スル吾々ノ代表ノ質問ニ對シテ、廣田總理大臣代理——デハアリマセヌガ、國務大臣トシテノ御答辯ヲスルコトヲ得ナカッタノデアリマス、而モ司法大臣ガ憲法上ノ論點カラ議員ノ質問ニ對シテ御答ニナッテ居リマスルガ、其點モ至ッテ本法案ニ信念アリヤ否ヤト云フト、信念ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、茲ニ私ハ非常ナル疑問ヲ持ツト同時ニ、而モ我が立憲國ニ於テ初メテ此大法案ヲ政府ガ提案サレルニ、全閣僚責任ヲ取ルベキニ拘ラズ、私ガ見ル所ニ於テハ、陸軍大臣ヨリ此法案ニ對スル信念ガナイヤウナ感ジラシタコトハ、非常ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、コ、デ私ハ陸軍大臣ニ先ヅ御尋シタイト云フノハ、本法案ガ言フ迄モナク國民ノ自由財産ヲ拘束シ、權利義務ニ及ビ、國民生活ノ實體ニ至大ノ關係ヲ有スル重大法案デアル、國民一般ハドウ云フ感ジラシテ居ルカ、又陸軍方面倒ナ問題ヲ出シテ國民ヲ惑ハスデハナイカト云フヤウナ感ジラ懷カシタノデアリマス、此指導精神ハ、全部陸軍カラ出デ居ルノデハナイカト云フ疑惑ヲ持ツノデアリマス、今日一般國民ノ心ノ中ニ起キテ居ル斯ウ云フヤウナコトハ、閣僚諸公ノオ耳ニ入ッテ居

ルヤ否ヤ存ジマセヌガ、吾々議員ニ於キマシテハ常ニ耳ニシ其言葉ヲ聞クノデアアル、吾々國民ト致シマシテハ、杉山陸軍大臣ニ對シテハ絶對ニ信頼ハシテ居リマスルガ、併ナガラ陸軍ノ今日ノ態度、行動ハ國民ニ如何ナル感ジラ懷カシメテ居リマスカ、今回ノ法案ニ對シテモ、是ハ我が陸軍ノ爲ニ私ハ申上ゲザルヲ得ナイ、革新政治ノ中心ハ陸軍ニアル、陸軍ノ力ニ依ラナケレバ如何ナル革新政治モ行ハレナイト云フ觀念ガ、部内ニ流レテ居ルト云フヤウナ感ジガスルノデアリマス、陸軍ノ出サレマスル彼ノ——遞信省ノ所管デハアリマスルガ電力法案デモ、或ル意味ニ於テ陸軍ガ主張サレルノデハナイカ、今回ノ法案ハ軍ニ於テ主張ナサルノハ當然デアリマスガ、吾々ハ未ダ曾テナイ所ノ此大法案ニ對シテ、此時局重大ナ際ニ、國民トシテハ當然此位ノ法案ガナクテハナラス、少クトモ近衛內閣ガ責任ヲ以テ出サレル以上ハ、近衛總理ヲ信頼スルト同時ニ、陸軍大臣ヲ信頼申上ゲテ、當然國民ガ承服シナケレバナラスト思フノデアリマス、ドウモ他ノ閣僚ニハ御信念ガナイ、如何ニ近衛內閣ガ責任ヲ以テ提案サレタト言ハレマシテモ、本議場ノ光景竝ニ本委員會ニ於ケル他ノ閣僚ノ御答辯ニ至ッテハ、全

ク吾々ハ其信念ヲ疑ハザルヲ得ナイ、此點ヲ先ヅ私ハ陸軍大臣ニ御尋シテ見タイ、アナタガ國家ノ爲ニ全陸軍ヲ背負テ、サウシテ此法案ガナケレバ、ドウシテモ是レ以上事件ガ進展ヲ來シ場合國家ノ爲ニナラス、此御精神ニ對シテ唯一人國民トシテ反對スル者ハナイノデアリマス、ケレドモ此法案自體ガ、罰則法規ガアル點ニ付テ、吾々國民ヲ代表スル衆議院ニ於テハ非常ナル疑惑ヲ持ツノデアリマス、陸軍大臣萬一私ノ只今申上ゲタヤウニ、本法案ニ對シテ他ノ閣僚信念無シ、アナタガ全責任ヲ以テ、國家ノ爲ニ此法案ガナクテハナラスト云フ御考デアッタナラバ、吾々ニ對シテモウ少シ強イアナタノ主張サレル御信念ヲ私ハ承リタイノデアリマス、而シテ私ガ此御尋ヲスル所以ト云フノハ、吾々國民ハアナタヲ絶對信頼シテ居リマスルガ、少クトモ國民ノ中ニ、只今私ガ申上ゲルヤウナ感ジラ懷カシタト云フモノハ、私ハ軍將來ノ爲ニ士氣ニ關係致シハセンカト思ッテ、國家ノ爲ニ憂フルノデアリマス、其點ヲ御迷惑デアリマスルガ、ハッキリ御答願ヒタイノデアリマス

○杉山國務大臣 本法案ニ付テハ國務大臣悉ク熱心ニ其通過センコトヲ、切望シテ居ルノデアリマシテ、單ニ私一人デハナイノデアリマス、而モ此法ヲ進メテ行キマス上ニ於キマシテ、陸軍ガ總テノ省ヲ引摺リ廻シテヤッタト云フヤウナ御心持ノヤウニ御尋デアリマスガ、是ハ各省ニ於キマシテ、此法案ヲ實施致シマスル爲ニ必要ナル案ヲ企畫院ニ持寄リマシテ、而シテ後ニ成立ヲ致シマシテ、之ヲ閣議ニ諮リマシテ出來タモノデアリマシテ、是ハ關係各省熱心ニ研究ヲ致シマシタ結果成立致シタモノデアリマス

○小高委員 只今陸軍大臣ハ何カ御聽キ違ヒガアリマシタカ、陸軍ガ各省ヲ引摺リ廻シテ此案ヲ無理ニデモ出シタヤウニ小高ガ問フノデハナイカ、私ハサウ云フ意味デハアリマセヌ、ドウモ五・一五事件、或ハ二・二六事件以來軍人ガ政治ノ中心ニナッテ居ル、此非常時ニ際シテ、此法案未ダ曾ツテナイト云フコトヲ小高ハ申上ゲタ、近衛內閣ガ少クトモ責任ヲ以テ本議會ニ提案サレル以上ハ、陸軍大臣ガ無理ニサウ云フコトヲ出シタトハ私考ヘマセヌガ、モウ少シ他ノ閣僚ニモ此法案ニ熱心ニナッテ貰ヒタイ、誠意ヲ以テヤッテ貰ヒタイ、アナタガ本議場ニ提案サレタ當時ヲ見テ、失禮デハアリマスガ、廣田外務大臣ニ此法案ノ説明ガ出來得ナイ狀態ハ如何ナル點デアリマスカ、是ハアナ

タガ如何ニ仰シヤラレテモ、吾々議員ノ立前カラ其情景ヲ見タ場合ニハ、斯ウ云フ危惧ノ念ヲ懷カザルヲ得ナイ、無論小高ハ少クトモ近衛内閣ガ提案サレル以上ハ、斷ジテ陸軍ガ之ヲ引摺ッテ出シタトハ思ヒマセヌガ、サウ云フ感ジテ國民ニ懷カシテハ大變ナコトデアアル、此意味ニ於テアナタニ御尋シテ居ルノデス、私モ國家ヲ思フ點ニ於テハ、大小アルカモ知レマセヌガ、敢テ人後ニ落チマセヌ、唯將來ノ斯ウ云フ大法案自體ニ對シテ、近衛内閣全閣僚ガ御信念ト御誠意ヲ持ッテ載キタイ、アナタノ此法案提案以來國家ノ爲ニ御努力下サル心情ヲ私ハ御推察申上ゲルカラ此點ヲ申上ゲル、此點ハ誤解ノナイヤウニ御諒承願ヒタイ、吾々少クトモ國民ヲ代表スル限リニ於テ、此世界の非常時ノ裡ニ直面シテ居ル我ガ日本帝國ガ、萬一ニモ國防上此總動員法案が必要ナリトシテ、吾々カラ斯クモアナタニ御質問申スト云フコトハ、少クトモ或ル程度マデ吾々ニ對スル理解ト認識ガ足ラヌト思ヒマスガ、陸軍大臣此點如何ニ御考ニナリマスカ

○杉山國務大臣 本法案ガ御承知ノ如ク、戰時ニ際シテ戰勝ヲ期スル爲ニ、全國力ヲ總動員スルコトヲ目標トシテ居ルノデアリマス、隨テ之ヲ提案致シマスニ當リマシ

テ、關係ノ各大臣ハ悉ク一樣ニ信念ヲ持チ、誠意ヲ持ッテ之ニ當テ居ルノデアリマシテ、私ハ決シテ他ノ大臣ガ信念ヲ御持チニナラズ、又誠意ナク之ニ臨ンデ居ルモノデハナイト信ズルノデアリマス

○小高委員 私ハ只今陸軍大臣カラ重ネテ御答ニ對シテ満足シ得ル者デハアリマセヌガ、何分ニモ時局厲行ノ御相談ガ委員長ヨリアリマシタノデ、努メテ簡略ニ申上ゲタイト思ヒマスルガ、先ヅ陸軍大臣ニモウ一ツ伺ツテ置キタイノハ、私ハ戰爭自體ト云フモノガ、精神力ノ戰デハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、彼ノ日清戰爭ニ於テ、當時極東ニ於ケル小サナ一帝國デアッタ日本ガ、亞細亞ノ一大帝國デアアル清國ヲ、再起シ得ヌマデ叩キ潰シタコト、又日露戰爭ニ於テハ、歐亞ニ跨ル強大國、其陸軍ハ世界無比ト言ハレ、列強ヲ震駭セシメテ居タ露國ヲ擊破ツタ、此二大強國ヲ屈服セシメ、未曾有ノ大勝利ヲ博シタ所以ノモノハ何デアアルカト言フト、是レ御稜威ノ然ラシムル所デハアルガ、我ガ忠勇ナル將士ノ精神力デアアル、此精神力ガ戰爭ノ際如何ナル働ヲ爲スカハ、過去ニ於ケル二大戰爭ニ於テ、能ク物語ッテ居ルコトデアリマス、今次ノ支那事變ニ見テモ、支那ガ所謂世界ノ科學ノ

力ヲ利用シ、全能力ヲ傾注シテ築上ゲタ所ノ彼ノ難攻不落ノ要塞モ、精神力ノ前ニハ何等ノ威力ヲ發揮スルコトガ出來ナカッタデハアリマセヌカ、上海戰ガ明ニ立證シテ居ルコトデアリマス、此精神力ト云フモノハ

上御一人ニ對シ奉ル盡忠報國ノ精神ト愛國ノ精神ニ依ルモノデアッテ、我ガ帝國ノ強イノハ實ニ此點ニアルノデアアル、此重大ナル時局ニアッテ、我ガ忠勇ナル國民ハ第一線ニ立チ、生命ヲ鴻毛ノ輕キニ置キ、日夜君國ノ爲メ全力ヲ盡シテ戰ッテ居ルノデアリマス、吾々銃後ニ在ル國民モ有ユル階級ヲ網羅シ、上下一致協力此重大難局ニ對處スベキ時デアアル、故ニ國民精神總動員ノ必要モ、此處カラ生レテ來ルノデアルト私ハ思フノデアリマス、私ハ法ヲ以テ吾々國民ヲ或ル程度マデ——自繩自縛ト言ッテハ語弊ガアルカモ知レヌガ、何カ一ツノ操リ人形ノヤウニ、一本ノ絲デ自由ニ國民ヲ踊ラセルト云フコトハ、此精神力ノ點ニ於テ、非常ナル惡影響ヲ與ヘナイカト思フノデアリマスルガ、之ニ對シテ陸軍大臣ハ如何ナル御考ヲ御持チデスカ、御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○杉山國務大臣 精神力ガ極メテ必要デアルト云フコトハ、御説ノ通りデアリマス、此總動員法ニ於キマシテハ、國民ノ忠誠ナル精神、一致協力ニ依リマシテ、總動員ヲ完全ニ遂行シ得ルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、此總動員ヲシテ最モ高度ニ發揮シ得ル爲ニハ、此忠誠ナル精神ヲ、向フベキ一途ニ向ケテ行クト云フ事柄ガ極メテ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、此總動員ヲ實行スルコトニ依ッテ、益、忠誠ナル精神ヲ力強ク發揮セシメ得ルモノト考ヘテ居リマス

○小高委員 只今陸軍大臣ノ御答デアリマスルガ、私ハ此點ニ付テ聊カ意見ヲ異ニスルノデアリマス、陸軍大臣ニ對シマシテ私ハ此程度ニ致シマス、企畫院總裁ニ一寸伺ッテ見タイト思ヒマス、私ガ何故瀧總裁ニ此點ヲ御尋スルカト申上ゲマス、是ハ近衛總理大臣始メ全閣僚ガ此御考ヲ持ッテ居ラレルノデハナイカ、斯ウ云フ感ジガアリマスノデ御尋スルノデアリマスカラ、其點ヲ前以テ御諒承願ヒタイノデアリマス、過般ノ増稅ノ法案ガ、帝國議會ニ提案サレタ當時ニ於テ、議員ノ質問ニ賀屋大藏大臣ガ斯ウ云フ答ヲシテ居ルノデアリマス、ドウ云フ答辯カト申上ゲマス、戰地ニ在ル皇軍ノ將士ヲ思ッたら、此位ノ増稅ハ已ムヲ得ナイデハナイカ、是ハ大藏大臣ノ吾々議員

ノ質問ニ對スル答デアリマス、過般瀧總裁
ガ新聞記者團ニ向ツテ、戰地ニ於ケル皇軍將
士ヲ思フナラバ、此法案ノ一ツ位ハ拵ヘテ
置カナケレバ濟マヌデハナイカ、又アナタ
ハ取消シテ居リマスガ、全新聞ニハ既ニ報
道サレテ居ルノデアリマス、二月十五日ノ
新聞紙ニ、此事變ニ對シテ、而モ戰地ニ於
ケル皇軍將士ニ對シテ、憲法ナドヲ論ジテ
居ル場合デハナイ、是ハアナタガ後デ取消
シテ居リマス、私ハ此點ヲ非常ニ遺憾ニ思
フ、賀屋大藏大臣ハ増稅案ニ對シテ、國民
ハ此位ノ増稅ハ、戰地ニ在ル皇軍將士ニ對
シテモ當リ前デハナイカト云フ、此感ジラ
假ニアナタ方近衛内閣ノ閣僚始メ各位ガ其
精神デ以テヤラレタラ、是ハ非常ナル誤デ
アルト私ハ思フ、皇軍將士ガ國家ノ爲ニ御
働キニナツテ居ルコトニ對シテ、吾々銃後ノ
國民トシテ、之ニ敬意ヲ表セザル者ガアリ
マセウカ、日々ノ新聞紙ヲ見テモ、此盡忠
報國ノ精神ニ對シテハ、戰地ニ於ケル皇軍
將士ノ精神ニ吾々銃後ノ國民トシテ、一人
モ感謝シナイ者ハナイノデアリマス、然レ
ドモ少クトモ吾々銃後ノ國民ハ、是等戰地
ニ於ケル皇軍將士ヲ安心シテ戰ヘルヤウニ
スルニハ、吾々ハ是以上此時局ニ處シテ、
一生懸命ニ國家ノ爲メ、或ハ産業デモ、農

業デモ、有ユル商賣ヲ熱心ニヤラナケレバ
ナラスト云フコトガ、吾々銃後ノ國民ノ責
任デナクテハナラス、然ルニ二言目ニハ戰
地ニ居ル帝國軍人ニ對シテモ此位ノ法案ハ
已ムヲ得ナイデヤナイカ、サウ云フコトヲ
言ハレルコトハ銃後ノ國民ニ對シテ非常ナ
ル刺戟ヲ與ヘルノデアリマス、瀧企畫院總
裁ハ此事ニ對シテ、今デモ其通りニ思ッテ居
ラレルヤ否ヤ、此點ヲ私ハ御尋シタイノデ
アリマス

○瀧政府委員 御尋ノ點ハ全ク誤リ傳ヘラ
レタコトデアリマシテ、サウ云フコトハ考
ヘテモ居リマセヌシ、申シタコトモナイノ
デアリマス

○小高委員 瀧企畫院總裁ニモウ一度御尋
シマス、私ハ二ツノ點ヲ擧ゲテアナタニ御
尋シタイノデアリマスルガ、其點ハ如何デ
スカ……

○瀧政府委員 モウ一ツノ點ハ、戰地ニ在ル
人ノコトヲ思ヘバ、是レ位ノ法律ヲ作ッテモ
宜イデヤナイカ、斯ウ申シタコト云フ御言葉
デアリマシタガ、サウ云フ言葉モ使ッタコト
ハアリマセヌ

○小高委員 只今瀧總裁カラ其意見ヲ伺ヒ
マスルト、非常ニ私ハ意ヲ強ウスルノデア
リマス、戰地ノ皇軍將士ハ吾々ガ只今申上

ゲタ通りデアリマス、サウ云フコトヲ以
テ此非常時ニ處シテ、國民ガ長期聖戰ニ堪
ヘルカ、其點ヲ考ヘマスルト、私ハドウシ
テモ此點ハアナタニ伺ッテ置キマセヌト――
賀屋サンカラモ今申上ゲタヤウナ言葉ガ
本議場デ出テ居ルノデアリマスノデ、御
尋シマシタ所、斷ジテサウ云フコトヲ述ベ
タ覺エガナイト云フコトヲ伺ヒマシテ、非
常ニ私ハ満足ヲ致スノデアリマス、次ニ文
部大臣ガオ居デノヤウデアリマスルカラ、
私ハ文部大臣ニ極ク簡單ナ問題デアリマス
ルカラ御尋シテ置キタイ、時間モアルヤウ
デアリマスカラ、極ク簡單ナル御尋デアリ
マスルガ、今回ノ總動員法案ニ對シテ、總
動員業務トシテ教育訓練ニ關スル事項ガ加
ヘラレテ居ルノデアリマスルガ、本案ハ有
ユルコトヲ總括シテ居リマシテ、如何ニモ
大キナ風呂敷ヲ擴ゲテ、何デモカンデモ包
ンデシマッタヤウナ感ジガアルノデアリマ
ス、而シテ文部省ノコトモオ構ヒナシニ、
教育モ序デニ抛リ込ンデシマヘト云フヤウ
ナ感ジヲ持ッタノデアリマスルガ、如何ニ戰
時體制下ト雖モ、急激ニ教育制度或ハ其内
容ニ變更ヲ加ヘルト云フコトハ、極メテ難
カシイコトト思フノデアリマス、更ニ戰後
ニ於キマシテ平時ノ教育ニ戻スト云フコト

ハ、容易ナラヌコトト思フノデアリマスル
ガ、此總動員法案ニ對スル教育訓練ニ關ス
ル點ヲ、アナタハ如何ナル御信念ヲ以テ御
承認ナサイマシタカ、之ヲ御尋シテ見タイ
ノデアリマス

○木戸國務大臣 御答致シマス、只今御話
ノ國家總動員ノ關係ハ、第二十二條ノ關係
デアリマシテ、學校其他之ニ準ズルモノデ、
技能者ノ養成ヲ致スノデアリマス、ソレデ
御話ノヤウニ此法案ハ極メテ廣汎ニ互ッテ
居リマスルガ、何モカモ引括メテ入レテシ
マフ、或ハ便乗シタト云フヤウナ考ハ毛頭
ナイノデアリマス、一度戰時ニナリマシテ、
總動員ガ實施サレマスルト、技術者ガ非常
ニ不足シテ來ルノデアリマシテ、其意味ニ
於キマシテ、各種ノ工業學校トカ、職業學校
ニ於テ技術者ノ養成ノ學科ヲ増設スル、或
ハ收容人員ヲ増加スルト云ツタ程度ノコト
ヲ實行スルノデアリマシテ、戰時ニ於キマ
シテ國家ノ教育ノ根本方針ヲ全然蹂躪スル
ト云フヤウナ問題ハ、マダ考ヘテ居ル次第
デハアリマセヌ

○小高委員 只今文部大臣ニ御尋シテ居ル
理由ハ、本法第三條ノ五號ニ「國家總動員
上必要ナル教育訓練ニ關スル業務」ト云フ
コトガアル、此點ニ付テ私ハ御尋シテ居ル

ノデアリマス、之ニ對シマシテモ、文部大臣ハ只今ノヤウナ御考ヲ持ッテ居ラレルヤ否ヤ

○木戸國務大臣 只今ノ點モ同様ノコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、我國ノ教育ノ根本方針ハ、御承知ノヤウニ教育勅語ニ依リマシテ、其根本方針ガ決ッテ居ル、サウシテ總動員ガ行ハレマスルヤウナ時期ニナリマスレバ、一層ソレヲ強調致シ、徹底致サナケレバナラスノデアリマシテ、此總動員法ヲ適用スル時ニ當ッテ、俄ニ我國ノ教育ノ方針ヲ立直ストカ、變改スルト云フヤウナ必要ハ毫モ感ジテ居ラナイノデアリマス

○小高委員 私ハ文部大臣ニ御尋シテ居ルノハ、全部ノ教育ヲ此風呂敷包ノ中ニ入レタト申上ゲルノデハナイノデアリマス、併シ二回ニ亙ル文部大臣ノ御答ニ依ッテ、私ハ了承致シマシタ

次ニ内務大臣ニ私ハ御尋致シタイト思フノデアリマスルガ、本法ノ第十三條、第十四條ニ依リマシテ、政府ニ使用又ハ收用セラレマシタ工場、船舶、家屋其他ガ不用ニ歸シタ場合、第十五條ニ於キマシテ、舊所有者、舊權利者ニ買受ノ優先權ヲ與ヘルノデアリマスルガ、是ハ競賣處分ノ前提ト致シマシテノ優先權ノ意味デアリマセウ

ガ、兎ニ角個人ノ場合ニハ其生活ノ本據ナリ、財産ナリヲ國家ガ強制的ニ徵發スルノデアリマスルカラ、不用ニ歸シタ時ニハ、無償デ交付スベキガ當然デアルト思フノデアリマス、尤モ收用ニ際シテ賠償シテアルノデアルカラ、無償交付ハ不穩當デアリ、不可能デアルトスレバ、大體ノ拂下標準ヲ決メテ、出來ルダケ安ク拂下ノ形式ヲ御取リニナルノガ當然ト思ヒマスガ、ソレデモ舊所有者ニ拂下ノ意思ガナカッタ場合ニ、初メテ競賣ニ付スルヤウニシテハドウカト思フノデアリマスルガ、假ニ補償委員會ニ於テ拂下價格ノ決定ヲスルヤウニナッテ居ルノデアリマスガ、委員會ハ恐ラク時價ヲ以テ評價スルコトト思ヒマス、左様ナレバ結局資金關係カラ他人ノ手ニ渡ッテシマフヤウナコトハ、甚ダ前所有者ニ對シテ氣ノ毒ナ感ガアルノデアリマス、此點内務大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居ラレルカ御尋致シマス

○末次國務大臣 此問題ニ付キマシテハ企畫院ノ方ニ答辯シテ貰ヒマス

○青木政府委員 本法第十三條、第十四條ニ依リマシテ國家ガ收用致シマシタ工場其他ノ施設、或ハ權利、是等ノモノヲ第十五條ニ依ッテ舊所有者若クハ舊權利者又ハ一

般承繼人ニ優先的ニ買受ケル權利ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、其場合ノ値段ノコト

ニ付テノ御尋デアッタノデアリマス、只今モ御質問ノ中ニ御述べニナリマシタガ、收用ニ當リマシテハ相當ノ價額デ收用致シテ居リマスカラ、ソレニ依ッテ所有者ガ損シタトカ、或ハ生活ニ困ルト云フコトハ大體ニ於テナイト云フ建前デ當初收用致シマス、第十五條ニ依リマシテ優先的ニ買受ヲ實行サセル場合ノ値段ニ付キマシテハ、大體第二十九條ニ依リマシテ總動員補償委員會ノ議ヲ經テ政府ガ之ヲ決メルコトニナッテ居リマスガ、其場合ハ工場デ申シマスレバ、當初收用シタ時以後年數ガ經ッテ居リマスレバ、ソレダケ工場モ惡クナリ、ソレト同時ニ一方政府ガ金ヲ掛ケテ増築シタト云フヤウナコトモアリマセウ、色々ナ事情ノ變化モアリマスノデ、サウ云フ事情モ斟酌致シマシテ、又一方此規定ハ本來舊權利者保護ノ精神モアリマスノデ、委員會ニ於テ公正妥當ト認メル値段ヲ決メテ、其議ヲ經テ政府ガ決メテ行ク、斯ウ云フコトニナルモノト考ヘテ居リマス

○小高委員 青木政府委員ヨリ御答ガアリマシタガ、私ハ其點ヲ尋ネテ居ルノデス、假ニ補償委員會ヘ廻ッタ場合ニ於テ、時價ガ

標準値ニナッテハ却テ困リハセヌカ、前所有者ニ對シテハ優先的ニ、無償デイケナケレバ、賠償金ガアル以上ハ、少クトモ安イ値段ヲ決メテ、サウシテ補償委員會デ或ル程度之ヲ認メテヤルヤウニシマセスト、或ル程度マデ自己ノ業務ヲ忍ンデ國家ノ爲ニヤラレル國民ノ精神ヲ考ヘナケレバイカス、是ガ質問ナンデス、アナタノ今ノ私ニ對スル御答辯ハ、私ガ問ウタ儘ヲ御答ニナッテ居ルヤウニ考ヘマスルガ、條文ノアルコトハ承知シテ居ルカラ斯ウ云フ御尋ヲ申上ゲタノデス、補償委員會ニ於テ、無償ニナラス迄モ、少クトモ安イ値段ヲ以テ前所有者ニ返スヤウナ御考ヲ持ッテ戴キタイ、是ガ私ノ質問ノ要旨デアリマス、青木サニ御迷惑デアリマスガ、モウ一度此點ニ付テ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○青木政府委員 先程モ申上ゲマシタ如ク、此規定ハ舊權利者ノ利益保護ト云フ精神モアル規定デアリマスカラ、御趣旨ノ所ハ委員會等デモ相當斟酌サレルダラウト思ヒマス、併ナガラ當初申上ゲマシタ如ク、國家ハ收用ニ當ッテ相當ノ價額ヲ拂ッテ居リマスカラ、著シク國家ニ不利益ナル値段デヤルト云フコトハ此法律ノ精神デハナイダラウト考ヘテ居リマス

○小高委員 國家ニ不利ナル條件ト申サレマスルケレドモ、ドウ云フ意味デ只今ノヤウナ御答辯ガ出ラル、ヤ、私ハ常識上判斷ニ苦シムノデアリマス、少クトモ徵用シタ前所有者ニ返ス場合ハ、國家ガ或ル意味ニ於テ賠償ハシテ居リマセウケレドモ、之ヲ無償デ返ス位ノコトヲ此法文ノ中ニ現ハシテ置ク位ハ、私ハ國トシテ前所有者ニ對シテ當然ナリト思フカラ、此意味ヲ御質問申上ゲルノデアリマスガ、青木サンノ只今ノ國家ノ立前カラサウ云フコトハ出來ナイト云フ御考ハ奈邊ニアリマスカ、御迷惑デアリマスガ、モウ一度御答シ得マシトラ御答願ヒタイノデアリマス

シテハ、勿論權利者ノ利益ト云フコトモ考ヘマスガ、同時ニ國家モ著シキ損害ヲ受ケルヤウナコトノナイコトガ適當デアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス

○小高委員 ドウモ國家ガ之ヲ徵用サレル場合ニハシテ置イテ、之ヲ優先的ニ拂下ゲル場合ニ於テ、國家ノ損ヲシナイ程度ノコトハ、玆ニ織込デアルト云フヤウナ意味デアリマスガ、此點ハ私ハ是レ以上申上ゲマセス、是非共青木サンニモ御考ヲ直シテ戴イテ、十分國民ノ爲ニ——國民モ徵用サレ收用サレテモ、敢テ國家ノ爲デアレバー人ノ國民モ辭サナイノデアリマス、是ガ萬一ニモ優先的ナ權利ガアリマシテ、經濟上

許ス場合ハ只デモ國家ガ吳レヤル位ノ御考ヲ持ッテ戴カスト、青木サンニ於テハアルマイガ、官吏ハ兎角サウ云フ點ニ付テ构子定規ト申シマセウカ、斯ウ云フ點ヲ多々吾吾見タリ、耳ニシタリスルノデアリマス、此點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、内務大臣ニ私ガ御尋シテ見タイノハ、是ハ本法案トハ直接ノ關係ハナイカモ知レマセスガ、本法案ヲ實施スルニ當ッテハ、種々地方行政事務ノ複雑化ヲ來スト思フノデアリマス、隨テ府縣ト市町村トノ間ニ、例ヘバ郡役所ノヤウナ中間機關ヲ設ケル必要ガ起ッ

テ來ルト思ハレルノデアリマスルガ、如何デアリマスルカ、前々内閣當時各地方長官ガ連名デ、中間機關ノ設置ヲ内務大臣ニ進言シタコトモアリ、此地方行政機構ノ改革ニ付テハ、相當ナル御考慮ガアッテ然ルベシト考ヘルノデアリマスルガ、内務大臣ハ如何ナル御考ノ御持合セガアリマスカ、伺ヒタイノデアリマス

○小高委員 御尋ノ機關ヲ設ケマスコトハ、是ハ國家ノ機關トシテ慎重ニ考ヘナケレバナリマセス、今設ケルコトヲ考ヘテ居リマセス

○青木政府委員 出來ルダケ舊權利者ノ利益モ考ヘテヤリタイト云フコトハ、此法律ノ一ツノ精神デアリマスガ、土地收用法ノ前例ヲ見マシテモ、不用ニナツタ場合ノ土地ノ舊所有者ニ對スル拂下價格ハ、當初ノ補償價格デアルト云フヤウナ規定モ出來テ居ルヤウデアリマス、今回ハ必ズシモ是ト同様ニナルカドウカ分リマセヌガ、先般モ私が申上ゲマシタヤウニ、當初ノ收用ニ依ッテ著シク其權利者ニ損害ヲ與ヘナイヤウニ、先ヅ國家トシテハ措置スベキモノデアルト考ヘマスノデ、隨テ之ヲ拂下ゲルト云フ時ニ於キマ

テ來ルト思ハレルノデアリマスルガ、如何デアリマスルカ、前々内閣當時各地方長官ガ連名デ、中間機關ノ設置ヲ内務大臣ニ進言シタコトモアリ、此地方行政機構ノ改革ニ付テハ、相當ナル御考慮ガアッテ然ルベシト考ヘルノデアリマスルガ、内務大臣ハ如何ナル御考ノ御持合セガアリマスカ、伺ヒタイノデアリマス

○小高委員 內務大臣ニ御尋シテ見マスルガ、昨日吾々ノ同僚羽田委員ヨリ、新聞紙法ノ改正ニ付テ御尋ガアリマシタガ、吾々數年前ヨリ言論界ノ整理統制ヲ行フト云フ御意思ガアルヤウニ伺ッテ居ッタノデアリマスルガ、今回内務大臣ハ積極的ニ新聞紙法ノ改正ヲ出サレルヤウニ昨日仰セニナツテ居リマス、此點内務大臣ハ、新聞紙法改正ノ中ニ、私ハナイトハ考ヘテ居リマスルガ、萬一ニモ内務大臣ノ御考デ、新聞紙法ノ中ニ織込ム御考ナリヤ否ヤト云フコトヲ御尋シテ見タイノデアリマス

○小高委員 新聞紙法ヲ改正シテ言論ヲ統制シヨウナドト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ

○小高委員 國家ニ不利ナル條件ト申サレマスルケレドモ、ドウ云フ意味デ只今ノヤウナ御答辯ガ出ラル、ヤ、私ハ常識上判斷ニ苦シムノデアリマス、少クトモ徵用シタ前所有者ニ返ス場合ハ、國家ガ或ル意味ニ於テ賠償ハシテ居リマセウケレドモ、之ヲ無償デ返ス位ノコトヲ此法文ノ中ニ現ハシテ置ク位ハ、私ハ國トシテ前所有者ニ對シテ當然ナリト思フカラ、此意味ヲ御質問申上ゲルノデアリマスガ、青木サンノ只今ノ國家ノ立前カラサウ云フコトハ出來ナイト云フ御考ハ奈邊ニアリマスカ、御迷惑デアリマスガ、モウ一度御答シ得マシトラ御答願ヒタイノデアリマス

○小高委員 內務大臣ニ御尋シテ見マスルガ、昨日吾々ノ同僚羽田委員ヨリ、新聞紙法ノ改正ニ付テ御尋ガアリマシタガ、吾々數年前ヨリ言論界ノ整理統制ヲ行フト云フ御意思ガアルヤウニ伺ッテ居ッタノデアリマスルガ、今回内務大臣ハ積極的ニ新聞紙法ノ改正ヲ出サレルヤウニ昨日仰セニナツテ居リマス、此點内務大臣ハ、新聞紙法改正ノ中ニ、私ハナイトハ考ヘテ居リマスルガ、萬一ニモ内務大臣ノ御考デ、新聞紙法ノ中ニ織込ム御考ナリヤ否ヤト云フコトヲ御尋シテ見タイノデアリマス

○小高委員 新聞紙法ヲ改正シテ言論ヲ統制シヨウナドト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ

○小川委員長 ソレデハ小高君ノ總理大臣ニ對スル質問ヲ留保シテ置キマス、今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後六時五十四分散會

衆議院國家總動員法案委員會
議錄第五回中正誤

頁段 行 誤 正
一六二二四 軍需品 民需品

衆議院國家總動員法案委員會
議錄第七回中正誤

頁段 行 誤 正
六三九 推薦 抽籤

昭和十三年三月十一日印刷

昭和十三年三月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局